



小野耕生氏



高野てるみ氏

日時：平成 30 年 2 月 24 日（土曜日）14：00～15：30

場所：文京学院大学 S 館入り口に会場は掲示 <S405 教室 or S705 教室>

講師：小野耕世氏・高野てるみ氏 テーマ：「生涯学ぶ」を考える

「マリリン・モンロー」、「ベティ・フーズ」、「ワンダーウーマン」を生み出した映画・アニメ・コミックの世界と翻訳に学ぶ。

国内外のアニメやコミックに精通し、大人の学びはこれら文化にも大いにあるのだと語る漫画・アニメ、映画評論家で翻訳家の小野耕世氏が語る学ぶことの意味。

聞き手は、愛されるために自身が作り上げたイメージ・キャラがマリリン・モンローという稀代の女優なのだという、近著『マリリン・モンロー魅せる女の言葉』を上梓した映画プロデューサーでシネマ・エッセイストの高野てるみ氏です。

講師紹介

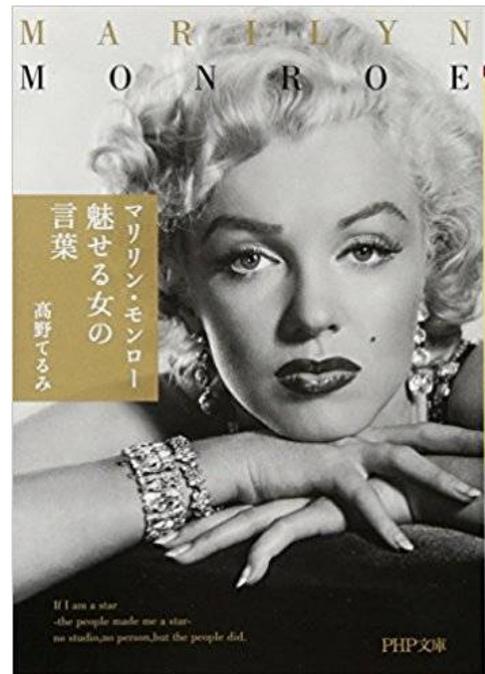
小野 耕世氏プロフィール

NHK教育局、国際局勤務を経て、映画とコミックスの評論・翻訳で活躍。2006年、第10回手塚治虫文化賞特別賞受賞。2014年、第18回文化庁メディア芸術祭功労賞受賞。現在、日本マンガ学会会長、映画評論家、漫画評論家、海外コミック翻訳家、海外コミック・アニメーション研究家。日本における海外コミックの翻訳出版および研究、紹介の第一人者。近刊としては『長編マンガの先駆者たち—田河水泡から手塚治虫まで』（岩波書店、2017）。現在東京工芸大学芸術学部客員教授。

高野 てるみ氏プロフィール

映画プロデューサー、エディトリアル・プロデューサー、シネマ・エッセイスト、株式会社ティー・ピー・オー、株式会社巴里映画代表取締役。上記の『マリリン・モンロー魅せる女の言葉』ほか、『ココ・シャネル 女を磨く言葉』、『ココ・シャネル 凛として生きる言葉』（いずれも PHP 文庫 2012、2014、2017）、『恋愛合格!太宰治のコトバ 66』（マガジンハウス 2013）、編著書『映画配給プロデューサーになる!』（メタログ 2003）など著書多数。現在文京学院大学外国語学部非常勤講師。

***最後に講師の講義内容を受けて、外国語学研究科の専任教員が「生涯学ぶ」についての研修にコメントし、各自の研究成果、内容を簡略に紹介します。**



生涯を通して学ぶこととは？

その愉しさや効用。人はなぜ学ぶことをやめないのか？

それに向き合う、教えるということの意味とは？

男性優位社会が中心的な時代に、愛されるイメージキャラクターとして「女性性」のアイコンになった代表的表象である、ベティ・フーズ、マリリン・モンロー、ワンダーウーマンなどを取りあげ、ジェンダー・フリーが叫ばれる今、コミック、アニメ、シネマの世界に生み出された女性らしさや、愛されるべき「女性性」についてのトークです。そこに介在する翻訳するというスキルについても語っていただきます。

* 一般の方はメールまたはFAXにて、事前申し込み(2018年2月22日迄)が必要になります。

FAX: 03-5684-4834

TEL:03-5684-4816

Mail: h-bgs@bgu.ac.jp (文京学院大学 大学院教務)

●文京学院大学本郷キャンパス

〒113-8668 東京都文京区向丘 1-19-1

●最寄り駅から

・東京メトロ南北線「東大前」駅下車(2番出口)徒歩 0分

・都営三田線「白山」駅下車(A2出口)徒歩 10分

・東京メトロ千代田線「根津」駅下車(1番出口)徒歩 10分